



中野区立緑野中学校 学校だより

探求・創造・共生

令和5年6月9日（金）発行

第3号

集団の力

校長 飯島 博之

今年の緑野中学校第16回体育祭は、6月3日（土）が雨で順延となり、6日（火）に実施されました。当日は、曇り空ではありましたが、涼しく体育祭に最適な気候でした。平日にもかかわらず500名以上の地域・保護者の皆様から心温まる応援をいただき、ありがとうございました。

生徒たちは、練習の成果を十分に発揮して、満足のいく体育祭になったことと考えています。

今年も生徒が主体的に考え、行動している姿を見ることができました。集団の中で周りの状況を判断して、よりよい方向に向かって、自分で考え行動することは、これからの時代を生きていく上でとても大切な力です。また、競技に参加している生徒を応援したり、係の仕事を積極的に協力したりする姿も見ることができて、生徒たちの成長を感じる体育祭となりました。

さて、ドイツの心理学者クルト・レヴィン（1890 - 1947年）は、「人間の行動は、その個人のパーソナリティと環境との間の相互作用によって決定される。」とする「場の理論」を主張しました。

これは、同じ人であっても、環境が異なれば、その行動が変わってくるということです。

例えば、テスト前に家にいると、音楽を聴いたり、ネットを見たりする人でも、学校で周りの人がテスト勉強をしていると、自分も勉強するようになるでしょう。

このように、人間の行動は周りの環境から大きな影響を受けています。

緑野中に例えると、時間やきまりを守るよい環境があると、緑野中に所属する生徒も、時間やきまりを守るようになります。また、このよい環境が、緑野中学校の生徒であるという自覚や仲間意識を高め、集団の結束力や団結力、連帯感を強くします。その結果、一人一人がより成長して、誰もが快適に過ごせる学校ができます。

今回の体育祭も、生徒会をはじめ応援団、各係、部活動、各学年、学級等が、体育祭を盛り上げるよい環境をつくった結果、一人一人が力を発揮できました。また、一人一人が力を発揮したから、学校全体で、体育祭を盛り上げることができたとも言えます。

ラグビーなどで言われる「one for all, all for one」（1人はみんなのために、みんなは1人のために）という言葉がありますが、これからも、一人一人が、周りの友達や学校全体のことを考え、行動して、よりよい緑野中学校を築いてほしいと思います。



6月6日（火） 体育祭

6月3日（土）に予定されていた体育祭は、雨のため6日（火）に順延となりました。

体育祭は、競技や応援、係活動など、一生懸命に、最後まであきらめずに取り組んでいました。

あらゆるところで「緑野力」が発揮された思い出に残る体育祭になりました。



2年生綱マ4大作戦



応援合戦



1年生いかだ流し



3年生大ムカデ



最終得点



3年生全員リレー

メール配信システムの Sumamachi 登録のお願い

学校では、緊急時の連絡（学校行事や地震・台風などの災害に関する連絡等）は、**Sumamachi** を使って配信しています。今後も、校外学習や修学旅行、台風による登校時刻の変更など、メール配信の機会が増えてきます。まだ登録がお済みでない方は登録をお願いします。登録に必要なグループIDは、すでに配布しています。ご不明な方は副校長までお問い合わせください。

欠席連絡についても、**Sumamachi** で行うことができます。

学校だよりを、今月からメール配信とホームページによる公開のみといたします。